



自然の中で

遊ぶ子どもたち

気温も暖かくなり、休日の公園は家族連れでにぎわうようになりました。元気に遊ぶ子どもたちの姿もよく見かけます。そこで、今回は宜野湾市に伝わる子どもの遊びを紹介します。

写真は、1967(昭和42)年、軍用道路1号(現在の国道58号)で遊ぶ子どもたちを写したものです。まだ娯楽の少ない時代、子どもたちの遊び場は身近にある自然でした。集落内のカーヤクムイで水遊びをし、雨が降った後に水が溜まった道路も格好の遊び場となったのです。

方言でソーミナーと呼ばれる、親しまれてきたメジロは遊び相手でした。メジロを捕まえる遊びはソーミナートウエーといい、鳥かごの中にあらかじめ捕まえておいたメジロとエサになるような果実などを入れ、それに寄って来た別のメジロを捕まえる方法がありました。このソーミナークー(鳥かご)は自分で竹を削った手作りのものでした。子どもたちは失敗して手を傷つけながらも、刃物の上手な使い方を学んだのです。

さらに、虫捕りに使う道具も自然のものを工夫して手作りしました。二又に割った竹の先にクモの巣を張った網で虫を捕まえ、ソテツの葉で作った虫かごに入れて遊びました。虫かごは上

手に作れば、美しい曲線を描いた形に仕上がります。ソテツの虫かごは現在も作り方が知られており、大人の方からも「これを最初に作ろうと考えた人はすごいね」という感想をよく聞きます。



▲軍用道路1号にて(1967年)



▲ソーミナークー(右)
ソテツの虫かご(左)

「宜野湾市史」への問い合わせ
宜野湾市立博物館 ☎870-93317



はくぶつかんの部屋 31

博物館から重大発表!

新しい年度が始まりました。進級・進学などで新しいスタートを切る方も多いことでしょう。さて、市立博物館でも新たな年間スケジュールの下で、これからの一年間が始まります。地元である宜野湾市の文化・歴史をテーマとして、展示会や市民講座、わらばく体験じゅくなど、さまざまな催しを開催する予定です。

ただし、今年度は例年と異なり、重大なお知らせがあります。それは常設展示室整備に伴う臨時休館です。一九九九(平成11)年の開館から親しまれてきた常設展示室ですが、17年が経過して故障や不具合が目立ってきました。また歴史の研究が進んだことにより、新たな事実が分かり、現在の展示内容とそぐわない部分も出てきました。そこで、常設展示室整備、いわゆるリニューアルを実施いたします。完全な展示の変更ではありませんが、設備工事が行なわれますので、常設展示室に入れない期間があります。予定では、平成28年12月より平成29年3月が閉室となります。

これにともない、特に小学校3年生を担任される先生方におかれましては、毎年「昔のくらし」学習でご来館いただいている時期と、閉室期間が重なっており、ご迷惑をおかけすることになります。博物館での学習を希望される際には、

例年より早めのご来館をお願いします。あわせて各小学校の来館希望日が、重複することが予想されます。今年度におきましては、例年以上の早め早めのお申込と調整をお勧めします。ご不明な点があれば、当館ホームページをご覧いただくか、電話などでお問い合わせください。

みなさまに喜んでいただけるよう、いろいろな工夫を盛り込んだ展示となる予定です。ご期待ください。



平成 27 年度企画展「イクサユヌジのーん」



平成 27 年度市民講座「中部のグスクめぐり」

お問合せ:市立博物館 ☎870-9317 入館料無料となっておりますので、お気軽にご来館下さい。